大阪市立大学文学部　住吉区民への授業開放

大阪市立大学文学研究科は、住吉区との連携協定に基づく地域貢献事業として、文学部の授業を住民のみなさんに開放する事業を行います。

時期：平成２８年１０月１７日（月）～１０月３１日（月）
場所：大阪市立大学杉本キャンパス各教室

・期間中の文学部専門授業を、聴講を希望する住民のみなさまに開放いたします。大阪市立大学文学部の授業にご関心をおもちの住民のみなさまのご参加をお待ちしております。
・開放する授業科目、開放日、曜日時限、担当教員、開放する日の授業の概要を参考に、参加を希望する授業科目を記載し、申し込みを行ってください。申込締め切りは10月11日（火）となります。
・各授業には受け入れ上限人数が設定されています。上限を超える参加申し込みがあった場合抽選となります。
・参加受付が受理されましたらメールまたはファックスにて参加票を送付いたします。当日は担当教員に参加票をお渡しください。
・　申し込みに関する問い合わせ先：詳細は　http://www.city.osaka.lg.jp/sumiyoshi/page/0000375254.html
　　住吉区役所教育文化課　担当：矢倉・坂本　TEL：6694-9989　FAX：6692-5535
　　E-Mail：tu0012@city.osaka.lg.jp
・　各授業についての問い合わせ先：
　　大阪市立大学文学部　増田聡 masuda@lit.osaka-cu.ac.jp

開放授業一覧（10月7日現在。教室は直前で変更になる可能性がありますので、最新の情報をチェックしてください）
※　教室は杉本キャンパス本館地区にあります。教室番号：100番台は１号館（時計塔の建物）、Lは文学部棟、730は法学部棟３F、教室番号の二桁目は教室がある階数を示す（137：１号館３階、L322：文学部棟３階）
※　「日本史基礎講読Ⅰ」（10月27日（木））のみ、全学共通教育棟３Fの83C教室で行われます。本館地区の北東側（学術情報センタービルの東側）地区の北側の建物となります。本館地区ではありませんのでご注意ください。

科目名	開放日	時間	担当教員	受入人数	授業概要	教室
人間文化概論Ⅱ	10月17日（月）	14:45~16:15	大黒俊二	10	本科目は哲学歴史学科志望の１回生向け概論授業で、現代歴史学のおもな潮流を概観することを目的としている。開放時の授業は環境史という新しい研究分野の紹介が主題である。	137
文化心理学特論	10月18日（火）	10:40~12:10	池上知子	4	本授業では、国や地域にみられる固有の文化がどのように形成され、継承されるのかを、日米を比較しながら講ずる。10月18日は、特にしつけや教育にみられるコミュニケーションスタイルの相違から、この問題について考察する予定である。	128
英語学概論Ⅱ	10月18日（火）	13:00~14:30	豊田純一	15	本授業では、英国内における英語の方言の多様性を歴史的に考察し、方言間の接触が及ぼす言語の歴史的変化について説明する。この過程において、言語の基本的な使用目的の変化などに着目しながら、文法の根底にある歴史的変化を見ていく。	134
教育学概論Ⅰ	10月19日（水）	16:30~18:00	柏木敦	5	テキスト：村井実『原典による教育学の歩み』（講談社、1974年）の第四章「学校と教育」、第五章「教育の科学へ」、第六章「思想と体制」の概説を読み、内容を検討する。ここでは主に19世紀以降の教育思想が取り扱われる。	126
中国語中国文学概論Ⅲ	10月19日（水）	13:00~14:30	大岩本幸次	5	漢字の形・音・義について一次資料に基づき歴史的観点から講述する。当日の具体的な内容については、それまでの授業の進捗状況にも関わるものでもあり未定。	L322
文化理論	10月 ~~19日~~ 10月26日（水）	14:45~16:15	海老根剛	3	文化の概念の期限とその歴史的変遷を学ぶとともに、現代文化を考察するために不可欠な理論的視点を獲得することを目指す。この日の講義では文化の概念史、または文化の人類学的条件をテーマとする予定だが、授業の進度などによって、実際に扱うテーマは変わる可能性がある。	123
言語情報論演習	10月20日（木）	14:45~16:15	関茂樹	5	英語を中心とした文の語順と情報伝達の関係を扱った文献を購読する。英語の論文が対象であり、資料を配布する。	135
社会学特論Ⅱ	10月24日（月）	10:40~12:10	進藤雄三	10	臨床社会学・社会問題論の個別領域として、教育問題を対象とし、現代における教育問題生成の歴史的・社会的背景を踏まえた上で、具体的なトピックとしていじめ、不登校、ひきこもりを素材に、社会学的分析を提示する。	134
地誌学Ⅱ	10月25日（火）	8:55~10:25	祖田亮次	5	この講義では、地理学の一分野としての「地誌学（地域地理学）」が学問としていかに成立しうるのか、あるいはその学問の対象とする範囲はどのように決定されるのか、といった点について、具体例を交えて説明します。	127
国文学史Ⅱ	10月25日（火）	10:40~12:10	久堀裕朗	10	この講義では、江戸時代に成立した人形浄瑠璃という芸能を取り上げ、その作品内容が時代の変化に応じてどのように展開していったのかについて考察します。開放回には浄瑠璃最盛期（18世紀半ば）の作品を取り上げます。	122
美学概論Ⅱ	10月26日（水）	8:55~10:25	高梨友宏	5	ショーペンハウアーの体系の中での美学の位置づけについて概観する。	730
表現文化論特論	10月26日（水）	13:00~14:30	増田聡	5	21世紀初頭のポピュラー音楽環境を、複製技術、主体性の変容、産業構造と所有意識などの観点から検討する講義。当日は現代ポピュラー音楽の収益構造、または聴衆／送り手関係の変容について具体例を元に講じる予定だが、授業の進度によっては別のテーマとなる可能性もある。	137
日本史基礎講読Ⅰ	10月27日（木）	10:40~12:10	仁木宏	10	「織田信長朱印状写」を素材に、文書の形式、16世紀の文字のかたち、原本から写しが作成されることの意味などを講義します。古文書を前にして、本物の資料の価値と魅力を学んでほしいと思います。	83C
フランス語圏文学史	10月27日（木）	10:40~12:10	津川廣行	10	フランス・ルネサンス（十六世紀）の文学について論ずる。イタリア戦争から宗教裁判終結に至るまでの政治的、文化的、宗教的問題、そしてまた、言語の問題について概観したあと、当時の思想、文学について具体的に論ずる。	127